

## 主にあって、ご復活の慶びを申し上げます

広くみなさまにお集まりいただき、ご復活の喜びを分かち合うことができませんことを残念に思いつつも、祈りの交わりの内にあってこの出来事をともに思い巡らし、新たないのちへの希望をともにすることができますことに、大きな祝福をいただいています。

さて、高橋宏幸東京教区主教は、教区の教会・礼拝堂、また信徒・教役者・関係者にむけて、地上にある教会としての使命を果たしてゆく時に、「いのちを守ること」「社会的な責任を覚えること」を、またこのような状況により困難のうちにある人びと、社会や生活を支えるために働く人びとをおぼえて祈ることを繰り返して呼びかけられました。それは、どのような状況の中にあっても、キリストの福音宣教への熱意を忘れることなく伝え続けてきた教会の伝統につながるものであると思います。

この感染症に伴う最も大きな困難と、わたしやおそらく多くの人びとが感じていることは、人と人との関わり・つながりをどのように大切にし、保ってゆくことができるかということだと思います。この困難はわたしたちひとり一人にとっても教会の共同体にとっても共通する課題です。しかし同時にこれからの時と時代をどのように、主のみ声を必要とし聴こうとする人びととともに迎え、また主イエスの宣教の働きに、更に新たな姿で召されてゆこうとする促しにつながることであります。ぜひ祈りと工夫を、これからも更に共にして参りましょう。

先般行われた聖アンデレ教会の堅信受領者総会では、2021年の展望とともに、年間の活動の報告と計画、教会会計の決算と予算が承認されました。また同総会には東京教区の要請を受けて教会委員会が提出した議案「牛込聖公会聖バルナバ教会教籍簿等受入の件」が上程され、同教会の教籍簿および教会墓地の移管受入、教友の入籍を歓迎することが決議されました。みなさまのご協力に感謝いたします。またコロナ禍での例年とは異なる方法での開催、準備や連絡など不十分な点がありましたことを反省し、今後に生かしてゆきたいと思います。

この聖アンデレ教会の意思表明を受けて、去る3月20日に行われた東京教区教区会は「牛込聖公会聖バルナバ教会合併の件」を可決、「牛込聖公会聖バルナバ教会を聖アンデレ教会に2021年5月1日をもって合併する。それに伴い、

教籍簿および教会墓地を聖アンデレ教会に移管する。それ以外の教会の土地、建物、施設および備品、ならびに預貯金等の資産の管理および処理については教区がこれを行う。」ことが決議されました。

また、昨年10月に行われた日本聖公会(管区)の総会での法規改正により「宣教協働区」「伝道教区」の設定がなされ、今年3月の総会では隣接の北関東教区が教区主教を選任せず宣教協働区内の伝道教区となりました。まだ流動的などころがありますが、東京教区は以北の4つの教区による東日本宣教協働区の中で宣教態勢の強化と教区再編を図ってゆくこととなります。当面、北関東教区との協働が進められてゆくこととなりますので、両教区連名で発せられた書面をお伝えいたします。ちなみに、神戸以西の3教区を西日本、他の4教区を中日本宣教協働区というグループとしてそれぞれの協働委員会を設けられることとなります。

地域社会・教区、また日本にある一つのキリストの教会として、聖アンデレ教会には多くの宣教の課題があると思います。すでに目に見える働きとなっているところもあり、また多くは模索の中に、そして教会内外の多くの人びとが期待をよせてくださっている課題も少なからず存在していると思います。それらに応えてゆくことができる教会が形成されてゆきますよう強く祈念しています。

最後になりましたが、どうぞ感染症の収束のためお祈りください。また困難と悲しみのうちにある方々を覚えます。そして、わたしたちがともに集い、再び親しい交わりの中にあるよろこびをともにすることができますように、お祈りいたしましょう。感謝。

2021年イースター

日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会  
牧師 司祭フランシス下条裕章